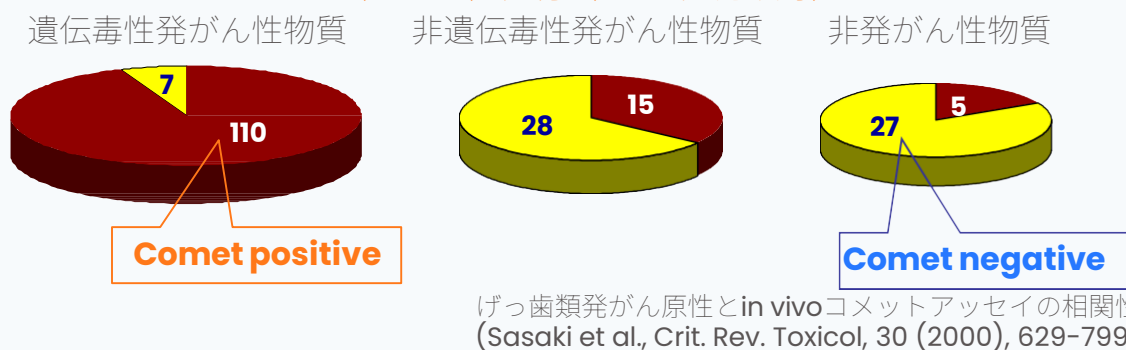


In vivo コメットアッセイ

— 個々の細胞におけるDNA損傷を検出する簡便で高感度な遺伝毒性試験 —

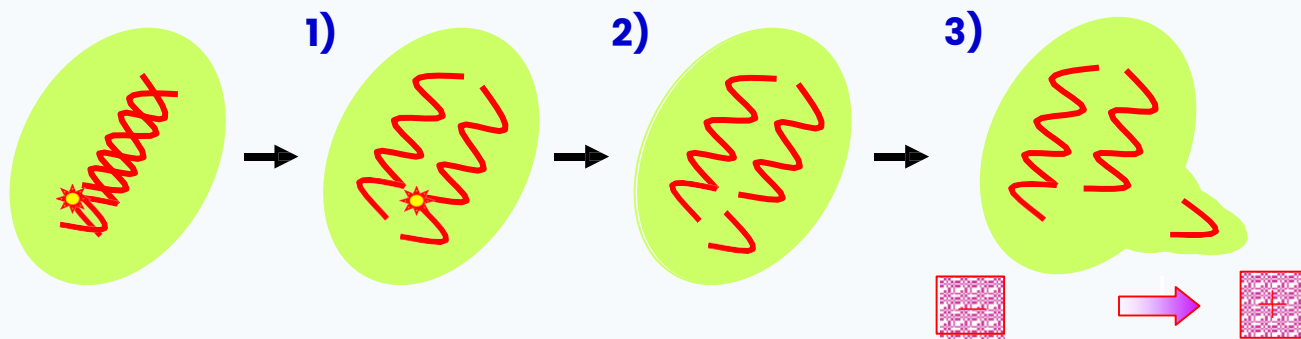
特性

- ＊ DNA初期損傷を 1 細胞レベルで検出する試験法.
- ＊ 小核試験では必須とされる, 評価臓器の細胞分裂を必要としないため, 非分裂性組織を含む広範囲の臓器・組織で評価が可能.
- ＊ 遺伝毒性発がん性物質に対する高い陽性率 [感受性] と非発がん性物質に対する高い陰性率 [特異性] が示されている.
- ＊ 改定 ICH ガイドラインの 2nd Vivo 試験として推奨されている.
[骨髓/末梢血 (小核試験) に加え, 2つ目の臓器・組織/エンドポイントを評価可能]
- ＊ OECDテストガイドライン (TG489) 発行 (2016年7月改訂)



試験の原理

- ＊ 強アルカリ (pH 13以上) 処理
 - 1) DNA: 2本鎖 $\Rightarrow$ 1本鎖
 - 2) アルカリ感受性部位 (アルキル化部位, 付加体形成部位など) における切断が促進
- ＊ 電気泳動
 - 3) 切断されたDNAに電圧をかけると, 分子量の小さい (断片化) DNAほど陽極側に移動



● お問い合わせ/資料請求はこちらまで

メディフォード株式会社 www.mediford.com

[東京] 〒174-0053 東京都板橋区清水町3-6番1号

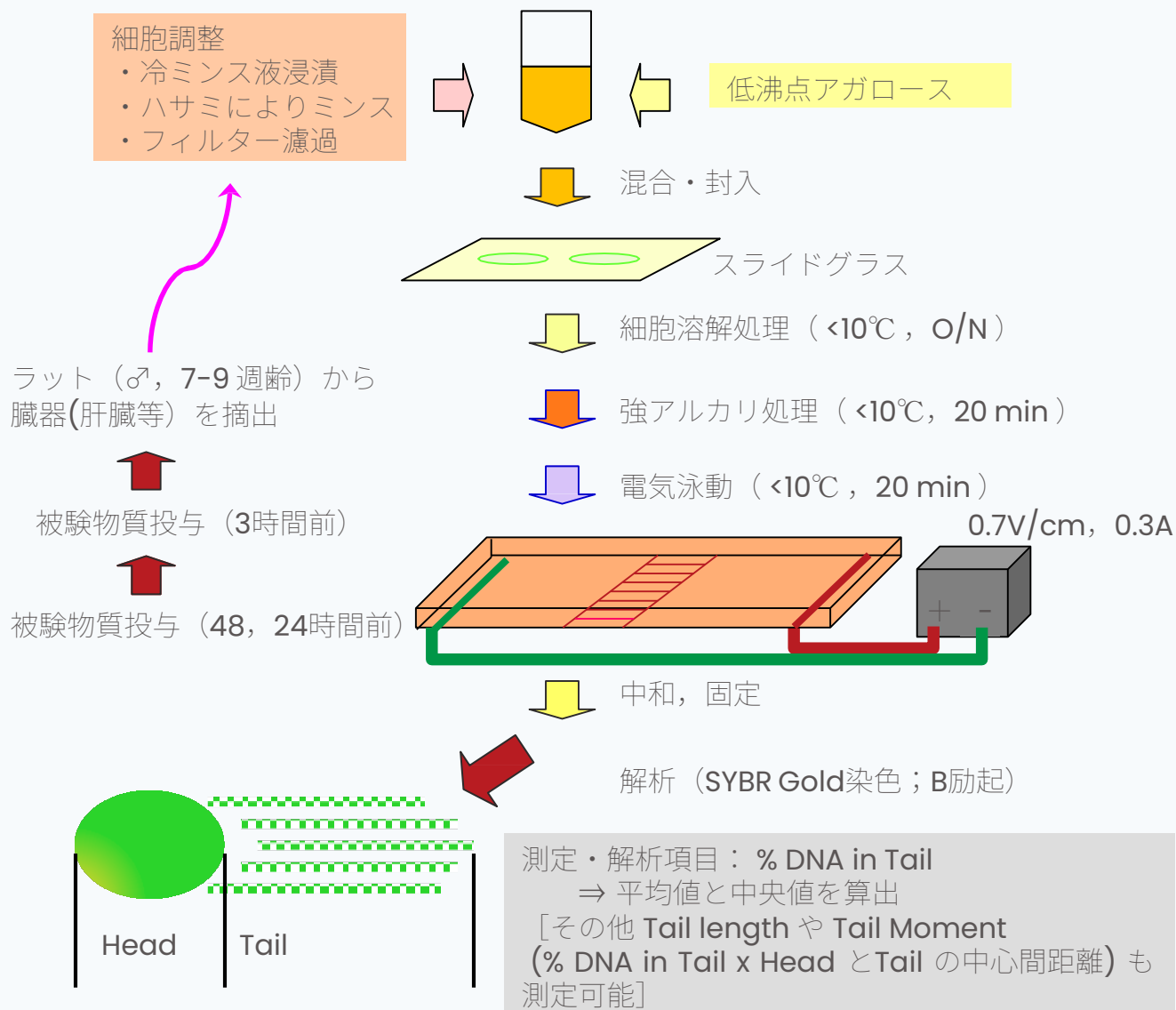
非臨床事業部 tel. **03-6905-5861**



「生きていく」を明るく、前向きにする。

mediford
A Member of PHC Group

試験方法



国際バリデーション・OECDガイドライン

International Validation of the In Vivo Alkaline Comet Assay for the Detection of Genotoxic Carcinogens (JaCVAM, NICEATM, ICCVAM, ECVAM, MMS/JEMS) に参加し、肝臓および腺胃において良好な結果を得た。

OECDテストガイドライン (**TG489**: 2016年7月改訂)